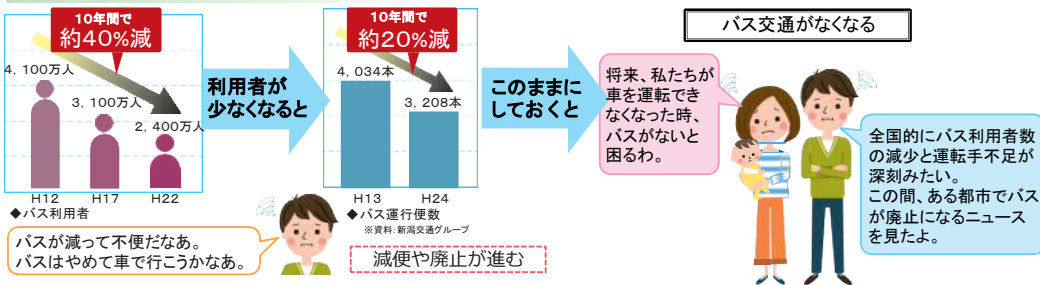


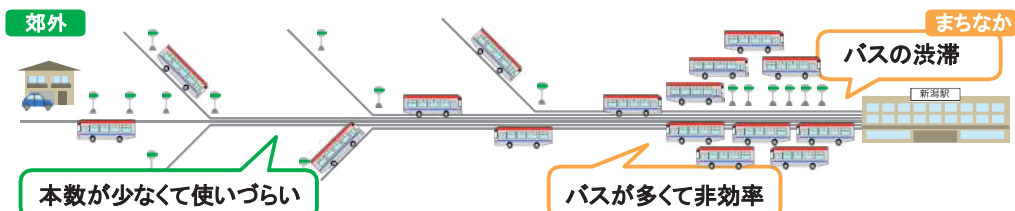


新潟市の交通環境の背景



BRT・新バスシステムの取り組み

これまで、すべての路線が郊外からまちなかに向かい、1台のバスが長い一本の“線”を走っていました。



利用者が減り、バスが減り続ける悪循環に歯止めをかけるために・・・
平成27年9月「BRT・新バスシステム」をスタート！

多くの路線がまちなかで重複していた区間を、BRTの導入により集約・効率化し、それにより生じた余力(車両や運転手)を郊外に投資し、郊外路線の増便や、路線の新設を含めたバス路線の再編を行いました。

バス便数の増加 路線の新設

雨風を防ぐ屋根や防風壁を整備

乗り換えに関する情報を提供

BRTは平日のピーク時間帯で3分間隔での運行!

バスがスムーズに運行!

交通結節点

▲屋根やベンチなどの設置で乗り換えとバス待ちに配慮した交通結節点

▲社内モニターで乗り換えをサポート

▲BRTバス停では運行情報を表示

▲低床で座席も多く、輸送力が高い連節バス「ツインくる」



事業効果！郊外路線の増便や路線の新設ができました。

◆BRT(萬代橋ライン)を除く運行本数の推移

3,017本 → 3,319本

302本増便

●7つの新設路線の設定

柳都大橋線 新大病院線 千歳大橋線、青山循環線 芋黒線 みなと循環線 青陵ライナー

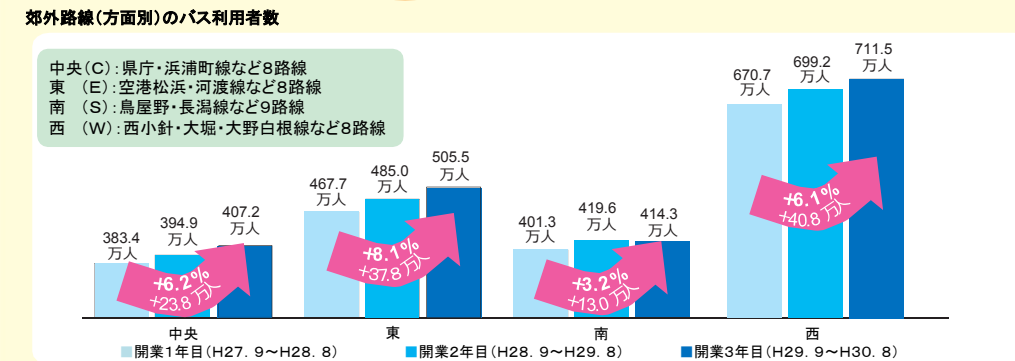
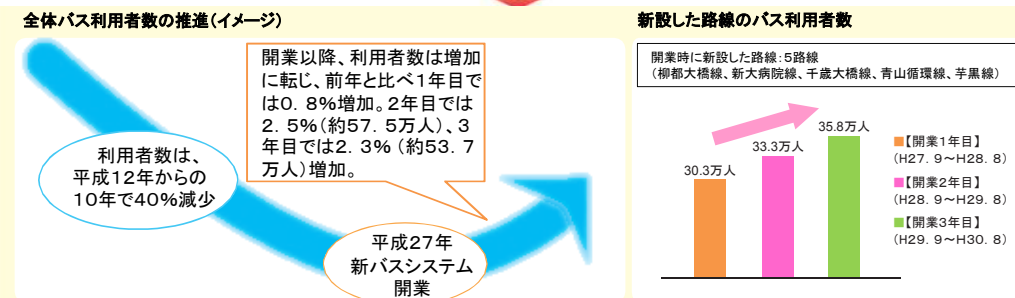
●交通結節点の整備

【開業前(計画時)】 【平成30年3月ダイヤ改正】

全国的にバス運行本数が減少しているなかで、新バスシステムの導入により、バスの本数を増やすことができました。

●駅前広場への新たな乗り入れにより、鉄道との接続性が向上。

郊外路線の増便、路線の新設、高齢者向けの運賃割引施策などサービス向上に取り組んできた結果・・・



持続可能なバス交通を目指し、引き続き、バス利用者の皆様からのご意見をお聞きしながら、運行事業者とバス交通の課題や改善の方向性を共有し、共に改善を進めていくことで、市民の皆様、利用者の皆様にとって使いやすく、喜ばれるようなバス交通にしていきたいと思います。